

一般社団法人山口県医師会平成27年度第7回理事会

平成27年7月9日(木) 午後5時～午後7時10分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、萬・林・加藤・藤本・今村常任理事、武藤・沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 日本医師会監事の選出方法について

北海道医師会より日本医師会代議員会宛に、標記について協議するため、各地区代表者懇談会の開催要請がなされたことから、中国四国医師会連合当番県より、各県の意向調査が行われた。本会は、監事の職責上、現状の「各地区代表者懇談会申し合わせ事項」の通り、「日本医師会長の所属するブロックからは監事を選出しない」とすることが妥当であると回答することが決定した。

2 地域振興商品券について

地域の商工会議所等が発行している地域振興商品券の取扱登録店に医療機関が登録されている地区があり、患者が医療費支払いに利用する可能性が懸念され、保険医療機関の療養担当規則上も問題があることから、地域振興商品券の利用等については、十分留意して対応するよう会員へ周知（事務連絡）することが決定した。

人事事項

1 糖尿病対策推進委員について

関係団体として委員を選出している山口県歯科医師会から、役員改選による委員変更依頼があり、上田真三 常務理事の就任が決定した。

報告事項

1 山口県警との協議（6月25日）

本年10月の医療事故調査制度施行にあたり、山口県警と情報交換並びに意見交換を行った。（林）

2 有床診療所部会第1回役員会（6月25日）

平成26年度事業報告案及び平成27年度事業計画案が承認され、11月5日に開催する平成27年度総会において審議することが決定した。また、河村専務理事より地域医療構想（ビジョン）策定に係る県内8医療圏の動向について、正木部会長より全国有床診療所関連会議について報告が行われた。（河村）

3 郡市医師会小児救急医療担当理事協議会（6月25日）

平成26年度小児救急地域医師研修事業、小児救急医療啓発事業について報告を行った。平成27年度実施事業としては、山口県医療政策課より小児救急医療

関連の 6 事業について、本会より小児救急医療電話相談事業等について説明を行った。(小田)

4 第 1 回健康教育委員会 (6 月 25 日)

平成 27 年度の健康教育テキスト「ウイルス性肝炎」の原稿案について協議し、次回までに修正案を検討することとした。(藤本)

5 医事案件調査専門委員会 (6 月 25 日)

病院 1 件の事案について審議を行った。(林)

6 山口県予防保健協会第 3 回定例評議員会 (6 月 25 日)

平成 26 年度の事業報告及び収支決算、理事及び監事の選任について審議を行った。(今村)

7 留置施設視察委員会第 1 回会議 (6 月 25 日)

山口県警察の留置管理業務の概要、留置施設の視察実施要領等の説明及び平成 27 年度活動計画について協議を行った。(香田)

8 臨床研修医交流会第 3 回幹事打合会 (6 月 27 日)

グループワーク、症例検討会等について最終協議を行った。(中村)

9 中国四国医師会連合常任委員会 (6 月 27 日)

中国四国医師会学校保健担当理事連絡会議への助成、医療事故調査制度における支援、分科会以外での保険担当理事協議会の開催等について協議を行った。
(河村)

10 中国四国医師会連合連絡会 (6 月 27・28 日)

27 日の連絡会は、常任委員会の協議事項についての報告及び中国四国医師会連合選出の日本医師会役員より中央情勢報告が行われた。28 日は、日本医師会代議員会議事運営委員会の報告が行われた。(河村)

11 第 135 回日本医師会定例代議員会 (6 月 28 日)

横倉会長の挨拶後、中川副会長より平成 26 年度事業報告が行われ、その後、平成 26 年度日本医師会決算の件、平成 27 年度日本医師会会費賦課徴収一部変更の件、平成 28 年度日本医師会会費賦課徴収の件の 3 議案を審議し、いずれも賛成多数で可決、決定された。また、代表質問 8 件、個人質問 11 件、会長挨拶への質問 1 件に対してそれぞれ担当役員から答弁が行われた。代議員 359 名中、出席 358 名。(河村)

12 第1回山口県糖尿病療養指導士講習会（6月28日）

開講式後、4題の講義が行われ、その後、確認テストが行われた。受講者133名（藤本）

13 医療事故調査制度に関する協議（6月19日・30日、7月7日）

本年10月の標記制度施行にあたり、山口大学との情報及び意見交換並びに協力要請を行った。（林）

14 社保・国保審査委員連絡委員会（7月2日）

6項目の議題について協議を行った。協議結果は本号（ブルーページ）に掲載。
（萬）

15 第1回禁煙推進委員会（7月2日）

禁煙教育用のスライドの作成、禁煙対策研修会の開催、世界禁煙デーイベントの実施報告、今後の委員会活動について協議を行った。（藤本）

16 広報委員会（7月2日）

会報主要記事掲載予定（8～10月号）、緑陰随筆、県民公開講座及びフォトコンテスト、tys「スパ特」のテーマ等について協議を行った。また、歴代県医師会長による座談会を開催し、新年特集号に掲載することが決定した。（今村）

17 都道府県医師会「地域医療構想策定研修」（7月2日）

厚生労働省が都道府県職員を対象として開催した「地域医療構想策定研修/全3回」の「前期（3日間 6/16～18）」の内容を再編成し、日本医師会が都道府県医師会を対象に開催した。釜菴常任理事から今回の研修及び中期（7/13～14）研修の説明があり、続いて、「地域医療構想の策定に向けて」（中川俊男 副会長）、「地域医療構想に関する基本的な考え方」（北波 孝 厚生労働省医政局地域医療計画課長）の講演が行われた。研修の講義と実習ダイジェストでは、厚生労働省医政局地域医療計画課医師確保等地域医療対策室の佐々木昌弘 室長等から、地域医療構想の考え方や注意点、策定に当たって用いるツールの具体的使用方法などについての説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。（河村）

18 地域医療連携あり方検討会～地域医療構想（ビジョン）等を踏まえて～

（7月4日）

山口県主催により開催され、医師会、病院関係者、行政等から約250名の参加があった。小松一彦 山口県健康福祉部長から「地域医療構想の策定を検討するにあたっては、関係者が山口県の地域医療の現状や課題について十分理解し、共通認識の上で検討していくことが必要」と挨拶があり、國光文乃 山口県医療政策課長の司会で進行された。「都道府県における地域医療の進め方について」（福島靖正 厚生労働省大臣官房審議官）、「山口県の地域医療の現状と将来推計等に

ついて」(松田晋哉 山口大学地域医療推進学講座特命教授・産業医科大学公衆衛生学教室)の講演 2 題が行われた。パネルディスカッション「山口県の地域医療をいかに進めるか」では、弘山直滋 常任理事、木下 毅 山口県病院協会長、田口敏彦 山口大学医学部附属病院長、岡 紳爾 山口県健康福祉部次長よりそれぞれ発表、質疑応答が行われた。(河村)

19 レジナビフェア 2015in 大阪 (7 月 5 日)

本県からは 9 病院と山口県医師臨床研修推進センターが出展を行い、訪問学生は 105 名であった。(加藤)

20 第 5 回保険診療と審査を考えるフォーラム (7 月 5 日)

「国民皆保険における社会保険診療報酬支払基金の役割」「審査で苦悩する諸問題」「医療保険における歯科審査の現状」の基調講演 3 題及びパネルディスカッション「国民皆保険と支払基金の審査」が行われた。(清水)

21 第 9 回 IPPNW 北アジア地域会議第 1 回実行委員会・第 1 回運営委員会

(7 月 6 日)

参加予定国の状況報告、共催・後援団体、予算等について協議が行われた。

(小田)

22 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会 (7 月 8 日)

幹事の委解嘱、平成 27 年 6 月審査委員改選状況、平成 26 年度特別審査委員会の取扱状況等について報告が行われた。(小田)

23 会員の入退会異動

入会 8 件、退会 8 件、異動 9 件。(7 月 1 日現在会員数：1 号 1,305 名、2 号 878 名、3 号 416 名、合計 2,599 名)

医師国保理事会 第 5 回

1 第 1 回通常組合会について

7 月 23 日(木)に開催する組合会の次第及び上程する 3 議案について協議、議決した。